

# 標十五句

松岡隆子選

盆唄や山の容の闇に入る  
百選の水とて濁る酷暑かな  
束縛を解かれし色や凌霄花  
蓮の実の飛んで一日乗車券  
寝返りの泳ぐに似たり熱帯夜  
秋の声日暮れ間近くあればなほ  
水澄むやたうたう捨てし母のもの  
月光の溶けてゐるなり崩れ築  
四五人の秋めく人に発車ベル  
竿もてば我も秋田の祭びと  
片蔭を来てまた片蔭を帰る  
けふ処暑の斜め斜めの雨激し  
整然と誰がとり仕切る蟻の列  
新涼の風に適へる袖の丈  
秋蝶の微光を曳きて風となる

峰岸よし子  
隈部郁子  
広渡詩乃  
別府優  
濱地恵理子  
佐藤郭子  
下平直子  
宮尾直美  
相馬晃一  
志立佐知子  
酒井豊子  
中島紀子  
一ノ瀬正喜  
田幡栄子  
小山陽子